

令和2年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492300130	事業の開始年月日	平成23年12月1日
		指定年月日	平成23年12月1日
法人名	株式会社へいあん		
事業所名	グループホーム「へいあん荻窪」		
所在地	(〒250-0042) 小田原市荻窪887		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	9ユニット
自己評価作成日	令和3年3月31日	評価結果 市町村受理日	令和3年7月26日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

①お客様に年間を通じて楽しんで頂ける様、多彩なイベントの開催
②チームワーク無くして良いサービス提供できず。一緒に働く仲間を大切に。定期的な個人面談の実施。今後サンクスカードの導入

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	令和3年4月14日	評価機関 評価決定日	令和3年6月10日

※新型コロナウイルス感染予防の為、事業所訪問をせずにオンライン調査を行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】 <p>この事業所は、JR東海道線、小田急小田原線の小田原駅西口から徒歩約20分ほどの住宅地にあり、建物は木造2階建てのバリアフリー構造で、エレベーターが設置されている。広い庭には遊歩道やベンチ、東屋、菜園などが設けられている。2階には地域住民との交流を目的とする地域交流室があり、定期的に喫茶室を開いていたが、コロナ禍のため中止している。法人は株式会社へいあんで、冠婚葬祭事業と介護事業を展開している。</p>
【理念に基づく支援の実践】 <p>職員は、「私たちは、心からの笑顔で明るく楽しい暮らしを創っていきます」「私たちは、いつもお客様を敬い、思いやり、ゆっくりと丁寧なケアを心掛けます」「私たちは、共に支え合いながら、お客様の安全と安心に心を寄せています」という3つの理念を実践している。 特に安全・安心には十分配慮し、毎日3回、温湿度を測定し快適な環境を維持している。設備面においては、廊下やリビングなどの共用空間の広さを十分に確保し、必要な箇所には手すりがついている。各箇所には安全確認用のカメラが設置されており、職員が見守りやすくなっている。 玄関には車いす対応の洗面台が設置され、外出後の手洗いや、うがいなどの衛生管理がなされている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	「へいあん荻窪」
ユニット名	みかん

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

事業所名	「へいあん荻窪」
ユニット名	小梅

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、申し送り時に理念唱和を行っている。	理念は、開所時に、管理者と職員が作成したもので、毎朝の申し送り時に唱和している。3つの理念のうち、特に3つ目の「お客様の安全と安心に心を寄せています」を大切にして、安全・安心な支援の実践に努めている。新入職員には、法人と事業所の理念のコピーを渡して説明している。管理者は、新しく赴任しており、職員と一緒に理念の見直しを予定している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍でなかなか地域とのつながりが持てていない。ここ数年外出をしていないと伺っている。今後は地域に愛される施設づくりをしたい。地域の方を呼び納涼祭を開いたり、学校へ通っている子供達なども気軽に寄れるような施設。	「荻窪自治会」に加入して、地域の行事などに参加していたが、コロナ禍で中止になっている。中学生の職場体験やボランティアも中止している。恒例の小田原RUN伴も中止になっている。隣に住むオーナーが地域の意見を収集する窓口となっている。地域の行事などの案内は回覧版で確認したり、近くに住む職員から情報を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今後、施設では地域とのつながりを持つ目的のひとつとして認知症サポーター養成講座。認知症講座なども開催していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今現状、行っているサービス。逆に目標としている課題などもお話をし皆様からも良い意見が出てサービス向上に反映していけたらと思っております。	2ヶ月毎に、書面による運営推進会議を実施している。参加者は、オーナー、地域包括支援センター職員、管理者、職員などで、報告書を送付している。コロナ禍前の参加者は、自治会長、民生委員、家族、管理者・職員も出席していた。事業所の活動報告や事故報告、行事の案内や情報交換を行っている。提案や要望などは挙がっていない。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	今後、荻窪たより通信を作成する事が決まっております。現在の施設の実情や取組など掲載し協力関係が築けていけたらと思っております。	小田原市高齢介護課が窓口で、事故報告などを行っている。運営推進会議の議事録の郵送もしている。生活保護を受けている方がおり、生活支援課とも連携している。小田原市の研修は、新型コロナウイルス感染症対策などが主で、オンラインでの研修に参加している。小田原市グループホーム連絡会に登録して、オンライン会議に参加し、他の事業者と連携している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中などは空気の入替えの為、ドアも解放。管理者自ら現場に立ち、拘束については指導などを行っております。現状拘束はございません。	身体拘束について、行わない旨、契約書に明記している。研修はコロナ禍で、集合研修は中止し、資料を職員に配布して対応している。「身体拘束適正化委員会」は、運営推進会議の中で、実施している。安全のため玄関やユニット入口は施錠しているが、外に出たい素振りの利用者がいた場合には、職員と一緒に、庭の遊歩道を散歩している。夜間の転倒防止のために、センサーマットを使用している方がいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に1度虐待についての勉強会を開催し、これからも開催して参ります。夜勤などは1フロア1人体制で一番虐待が起こりやすい状況と考えております。職員ひとりひとりの世間話や面談なども通じ、ストレス解消につなげています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	3月にご家族から成年後見制度をつけたいとご相談がありました。ケアマネ・管理者だけではなくスタッフにも学んでもらうため勉強会を開催する予定でございます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は1時間以上かけ、一文字一文字隅から読み上げ確認を行っております。介護保険制度は一般のお客様には理解が難しい場合もございますので丁寧にわかりやすく説明するように心掛けております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常時、意見受付は行っておりますが、話しづらい事もあるかと存じます。年1のCSアンケートの実施もしています。	電話で意見や要望を聞いて、「相談記録」に残し、対応を検討して経過を報告している。事前予約制で、ビデオ通話による家族との面談を実施した。月2~3件の利用状況であるが、家族から感謝されている。個別の支援に対する要望が多く、歯が痛いので対応して欲しいとの声があり、訪問歯科医を手配するなどの対応をしている。	コロナ禍の終息後には、家族との交流を増やすために、年1回でも一緒に参加できる行事又は家族会などの開催を期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談の実施で意見を聞いております。	職員に事前にヒアリングシートを配布し、個別に面接をして意見などを聞いている。職員が自由に意見や提案など記入できるアイデア用紙をフロアに設置して、職員の要望なども把握するように努めており、古くなった車いすや調理器具の取り換えなどの声が上がっている。コロナ禍により法人の指示で会議を中止しており、職員間の情報共有は朝の申し送り時と、連絡ノートやお客様ノートなどによる書面で行っている。管理者は、日々の支援の中で職員の声を聞くように努めて、休憩時間の確保などの課題を把握している。法人からタブレットが1台導入され、業務の効率を図ろうと努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談を生かし、個々の得意分野趣味などを今後サービス向上へ活かしていきます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修を今後増やす予定です。また能力評価表を活用し個人面談の材料としていきます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	認知症連絡会への参加。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居から1ヶ月は良くお話するようにしております。そこから本人のニーズを探りサービスへ反映していきます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とも入居時からしばらくはお電話で報告などをして関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用を開始する前が大切だと考えており、アセスメントの時点で今、何を必要としているのか、そこを重点にヒヤリングをし初期サービスに生かします。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者＝家族。それがへいあん荻窪です。一緒に料理を作ったり一緒にたくさん笑い。そんな関係づくりに努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の絆も大切にするために、面会に加えて家族会などを開催し一緒にお食事を召し上がり色々な話を伺う様にしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今現在、コロナの影響で外出がままなりません。今後、思い出の場所へはたくさん足を運びたいと思っております。	友人や知人などの来訪は、コロナ禍で中止している。玄関ホールで、家族との短時間面接を予定している。電話の取次ぎなどは実施している。馴染みの場所へ行けず、要望に応じて、花見ドライブなどで対応している。過去の習慣を大切に、新聞を読んだり、チラシを見ている方がいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションの実施。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了となってもいつでも相談に乗って下さい。と伝えております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お1人お1人が歩まれてきた人生は違って当然です。出来る限りその人の生活ルーティンを大切にしております。	アセスメントや、日々の支援の中で思いや意向を把握している。入浴時などの1対1の場面を大切にして、思いや意向の把握に努めている。意向の把握が難しい方には、表情やしぐさなどから把握するようにしている。家族などから聞くこともある。利用者の要望でお寿司の出前をとったり、花見をしにドライブに出かけたり、コロナ対策をした上で出来ることを実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	コロナ禍の為フロア会議が開催できていませんが今後フロア会議内で経過・把握に努めてまいります。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	月1度のモニタリングを居室担当者が行い把握に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	コロナ禍の為フロア会議が開催できていませんが今後フロア会議内で経過・把握に努めてまいります。	毎月1回、アセスメントを実施し、居室担当者が中心になって、他の職員の意見をまとめて、モニタリング用紙に記入し、計画作成担当者に提出している。計画作成担当者は、モニタリング用紙をもとに家族や医師、看護師の意見を取り入れて、介護計画を作成している。コロナ禍で、カンファレンスなどの会議は中止している。見直しは通常6ヶ月で、変化のある場合には、その都度見直している。介護計画と、日々の個別サービス記録が連動しているように読み取れない。	介護計画と個別サービス記録の連動を期待します。介護計画のサービス内容を具体的に記述し、その実施を個別サービス記録に記載することで実施状況を確認することを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月1度のモニタリングを居室担当者が行い把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	管理者、看護、現場と共有し十分な話し合いを日頃からするようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	管理者、看護、現場と共有し十分な話し合いを日頃からするようにしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在の訪問往診だけでなく、家族、本人の意思を尊重し、外部へ受診する事も多々あります。	全員が協力医療機関の医師の月2回の往診を受けている。その他に、家族対応で精神科や整形外科の専門医を受診している方が2名いる。訪問歯科医による2週間に1回の往診があり、治療や口腔ケアを行っている。看護師が週4日勤務し、健康管理をしている。薬は薬局の薬剤師が個別に包装して、届けてくれる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者、看護、現場と共有し十分な話し合いを日頃からするようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は病院のソーシャルワーカーとこまめに連絡を取り合っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化終末期はご家族の気持ちも変わりやすく、早い段階から終末期について医師も入り話し合う様にしております。	契約時に、重度化した場合の対応について説明し、同意を得ている。医師が終末期と判断した段階で、家族・医師・看護師・管理者で話し合い、「看取り介護の同意書」を得ている。本年度は2名の看取りを実施した。職員の研修は、資料の配布とその都度看護師からの指導がある。看護師が週4日在勤しているため、看護師を中心としての支援体制ができています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	現在、緊急時の対応の見直し中です。早急に見直し、職員に周知、訓練を行ってまいります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に数回、避難訓練の実施。	年2回、今年は6月と12月に避難訓練を行った。6月は夜間を想定した訓練を実施している。避難訓練の状況については、運営推進会議で報告している。地域との連携については、隣に住むオーナーの尽力で良好であり、地域住民には避難した利用者の見守りをお願いすることになっている。備蓄は非常食、飲料、災害用トイレ、医薬品、ガスコンロ、日用品などである。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	家族と思い接しており、すべてが敬語ではございませんが、人格を尊重しお客様の立場でプライバシーを損ねないよう声掛け対応をしております。	利用者に対する言葉遣いについては、特に注意し、トイレ誘導時などには、小声で周囲に気付かれないように配慮している。利用者を人生の先輩として敬い、名前にさん付けで呼んでいる。個人情報を含む書類は、事務所のカギの掛かる書庫に保管している。パソコンは管理者とリーダーのみが使用し、パスワードで管理している。USBフラッシュメモリは使用していない。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	おやつ、特別食など何が食べたいかその都度伺い、できるだけ要望に応える様にしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に相手側のペースに合わせる様にしている。今後は業務削減に取り組み、その空いた時間はお客様の為に使う時間としていきます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時も一緒に服を選んでおります。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本の食事は決まっていますが、例えば揚げ物に醤油、ソースなどお客様一人一人に聞きながら選んだり、月1の特別食の際はヒヤリングをし極力お客様の好みを提供するようにしています。	ご飯と副菜は職員が準備している。主菜については、朝食と夕食はレシピ付きで配食業者に依頼し、昼食は法人の経営する業者から湯煎で出せるものが届いている。利用者の要望には出来る限り対応できるように努め、誕生日やクリスマスにはケーキを、正月にはおせちを楽しんでいる。利用者は、好きなおやつをカタログから選んで注文することもある。体調に応じて食形態の変化にも対応している。菜園で野菜を育て、収穫して食材として食卓に上がることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量、ひとりひとり飲む時間も違いますので基本の時間+飲みたい時に飲んで貰えるよう、こまめに声掛けをしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後はひとりひとり極力口腔ケア時についてケアをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	極力オムツは使わない様、やむを得ない場合を除き、リハパンまでとしております。また一人一人の排泄時間の検討なども行っております。	布パンツを使用して自立している方が1～2名で、全介助で、紙おむつの方が1名いる。その他の方はリハビリパンツで、排泄パターンを把握して、声をかけてトイレ誘導をしている。リハビリパンツ使用者のうち、車いすの方が4名で移乗介助している。トイレは各フロア3ヶ所で、車いす対応である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師との連携含め、その他、水分量に注意したり、便秘気味の方にはオリーブオイルを使用したり朝はヨーグルトをお出しし便秘予防をしております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的な入浴は午後となっておりますが、その方に何時頃が良いか伺い、順番は変えるように努めております。	週3回、午後の3時半から5時半を入浴時間としている。失禁などの場合には、その都度必要に応じて入浴している。同性介助にも対応しているが要望は上がっていない。入浴したがる方には、時間をかけて対応し、職員を替えたりしている。菖蒲湯やゆず湯、入浴剤などを使用して、入浴を楽しんでいる。浴室と脱衣所には空調設備を設置して、ヒートショック対策を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中起床して頂く事も大切ですが、傾眠時などはお部屋で休んでもらうようしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	今年度から看護師による勉強会を開催予定です。そこで医療的支援については研修を受けて頂きます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食べたいもの、好きだったもの、ご本人やご家族からお伺いし提供しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在、コロナ禍で外出ができませんが、ちょっとした洗濯干しなど手伝うよ！と仰ってくれるので日常生活内で支援ができるよう努めております。	日常的な外出は出来ていないが、広い庭の遊歩道を使って散歩し、東屋で休憩している。車いすの方も一緒に遊歩道を散歩している。寝たきりの方も窓から庭を眺めて楽しんでもらっている。車でドライブに出かけ、車内から花見を楽しむなど、コロナ禍でも出来る範囲で楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	今後外出した際にお金を自ら払って貰えるよう支援に努めていきます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	てがみのやりとりはできておりませんが電話のやりとりは多々ございます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	先日も2Fフロアリビングの電気が暗いとの事で明るいものに交換したり、お客様が心地の良い空間づくりに努めています。	ダイニング、リビング、廊下などは広々しており、毎日3回、温湿度を測定し衛生管理や換気にも十分注意している。行事の写真や、季節の作品が壁に飾られ、季節感がある。法人の冠婚葬祭部から余った花が届き、利用者と職員と一緒にフラワーアレンジメントを楽しんでいる。清掃は職員が実施している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファなどを設置し好きな時に好きな位置に座れるよう心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室が綺麗だけが居心地の良さにつながるとは限りません。思い入れのあるタンスなど家具を持って来て頂いて居心地の良い空間づくりをしております。	居室は、空調設備とロッカーが設置されている。防災カーテンや照明は持ち込みで、ベッドは持ち込むか、事業所で用意したものを使用している。その他に、タンスやテレビなど使い慣れたものを持ち込んでいる。家族の写真や仏壇などを持ち込む方もいる。季節の衣料の入れ替えや備品の管理などは居室担当者が行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	認知症が進行して来ると何度も同じことを話したり、その都度話すことが変わりますが、極力相手側に合わせ自立支援につなげております		

目 標 達 成 計 画

事業所名

へいあん「荻窪」

作成日

2021. 4. 1

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	現状、休憩が取れない事も多く、それがストレスにつながり良いサービス提供につながらなくなってしまいます。	休憩がきちんと取れ心身が休める様になる事。	個人面談を通じて現状の把握。就業環境の整備（業務の見直し）。	半年～1年
2	13	スタッフの心のケアができていない。	スタッフが安心して、最高のチームワークで最高のサービス提供ができていく。	個人面談を通じて抱えている悩み、問題把握をしきめ細やかにフォローをしていく。	半年～1年
3	26	各階の計画担当が主となり計画作成している。	フロアスタッフ、管理者、看護を入れてケアプランが作れる。	勉強会を通じて、チームで計画作成を作る重要性を理解する。	半年
4	2	住宅街にある施設だがコロナ禍もある為か、地域交流ができていない	地域の方にボランティアに来て頂いたり、イベントの際に来訪していただきたい。	イベント行事の開催。市役所との情報共有	1年～

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。